

詩的暗喩表現と政治的ほのめかしに満ちた、ポーランド不朽の名作を専門家が語る  
ポーランド文化研究者 久山 宏一氏



映画

1958年 アンジェイ・ワイダ監督作品

# 『灰とダイヤモンド』の 成立と受容



ポーランド映画『灰とダイヤモンド』について、ポーランド文化研究者・映画通であり、通訳としてワイダ監督とも親交のある久山宏一氏をお迎えして、一緒に語り合しましょう。※映画上映会ではありません。



(講師紹介) くやま・こういち 埼玉県生まれ。東京外国語大学ロシア語科卒業、早稲田大学大学院博士課程(ロシア文学)中退。ポーランド・ポズナン市・アダム・ミツキエヴィチ大学より博士号(スラヴ文学)取得。ロシア・ポーランド文学、ポーランド文化、比較文学研究。ポーランド語通訳・翻訳、東京外国語大学非常勤講師、ポーランド広報文化センター専門職員。

2月5日(金) 18:30~

札幌エルプラザ 4F 中研修室

JR 札幌駅北口より徒歩3分  
札幌駅北口地下歩道12番出口直結  
事前申し込み不要。

## 〈講演〉

1. アンジェイ・ワイダ(1926年3月6日生)が生きてきた時代~90歳の誕生日を一月後に控えて
2. ワイダのフィルモグラフィ
3. ワイダ映画に描かれた第二次世界大戦
4. 映画『灰とダイヤモンド』概説
5. 小説『灰とダイヤモンド』(1948、イエジ・アンジェイエフスキ作)概説
6. 『灰とダイヤモンド』~小説と映画の間
7. 映画『灰とダイヤモンド』の問題
  - ① 「歴史」を「現代」として描く
  - ② 配役が決まるまで~ズビグニェフ・ツィブルスキという俳優
  - ③ 古典悲劇のように~三一一致の法則
8. 日本における小説・映画『灰とダイヤモンド』受容~大島渚を中心に

〈質疑応答〉



主催 北海道ポーランド文化協会

共催  ポーランド広報文化センター  
Instytut Polski Tokio

お問い合わせ先 (安藤)

電話・FAX 011-556-8834  
hokkaidopolandca@gmail.com  
<http://hokkaido-poland.com/>

# ポーランド映画祭2015 in 札幌

## POLAND FILM FESTIVAL IN SAPPORO

2月6日(土)



### 2月6日[土] スケジュール

- 10:30 — 開場  
11:00 — 開幕挨拶: 駐日ポーランド共和国大使  
ツィリル・コザチェフスキ閣下(予定)  
映画解説トーク: 久山宏一  
11:20 — 上映『エヴァは眠りたい』(12:55終了予定)  
場内入れ替え  
13:30 — 開場  
13:40 — 映画解説トーク: 久山宏一  
13:55 — 上映『約束の土地』(16:44終了予定)  
場内入れ替え  
17:30 — 開場  
17:40 — 映画解説トーク: 久山宏一  
17:55 — 上映『ヴァバンク』(19:44終了予定)

日時 : 2016年2月6日(土) 11:00~19:45

会場 : 札幌プラザ2・5(南2西5 狸小路5)

料金 : 一般1,100円、学生500円 (税込・各回入替制)

主催 :  ポーランド広報文化センター  
INSTITUT POLSKI TOKIO ほか

後援 : 北海道ポーランド文化協会、駐日ポーランド共和国大使館ほか、配給: マーメイドフィルム

今回は19世紀のウッチを舞台にしたワイダの壮大な歴史劇『約束の土地』をはじめ。“ポーランド派”が活躍した1950年代から現代まで、ウッチ映画大学が世に送り出した貴重な作品群をご紹介します。ポーランド映画を支えてきたウッチの文化と魅力を、たっぷりとお楽しみください。

Ewa chce spać  
エヴァは眠りたい



タデウシュ・フミエレフスキ監督 1957年 | 99分 | モノクロ | デジタル・リマスター版

**開幕挨拶+解説11:00 ◆ 上映11:20~** 幻想とリアルを織り交ぜた、不条理でダークなユーモアとルネ・クレール風の抒情性をあわせもつフミエレフスキ(1954年ウッチ映画大学卒)の大ヒット作。娯楽喜劇として作られた戦後最初の作品と言われ、全住民が警官か泥棒という奇妙な町に若い娘エヴァがやってくる物語は、ポーランドの現実を暗示しているかのようだ。サン・セバスティアン映画祭グランプリ。

Ziemia obiecana  
約束の土地



アンジェイ・ワイダ監督 1974年 | 169分 | カラー | デジタル・リマスター版

**解説13:40 ◆ 上映13:55~** 70年代のワイダ(1953年ウッチ映画大学卒)は文学作品を数多く映画化しているが、なかでも国内外で高い評価を得ているのが本作。ヴワディスワフ・レイモントの小説をもとにユダヤ、ポーランド、ドイツという異なった民族に属する若き親友3人が工業都市ウッチで身を立てようとする物語は、青春群像劇であり、同時に富んだ大都市の肖像にもなっている。

Vabank  
ヴァバンク



ユリウシュ・マフルススキ監督 1981年 | 109分 | カラー | デジタル・リマスター版

**解説17:40 ◆ 上映17:55~** ウッチ映画大学を卒業後、70年代後半から活躍しているマフルススキの大ヒット作。30年代のワルシャワで刑務所帰りの詐欺師が再び悪事を働く犯罪コメディ。米映画の名作『スティング』を想起させる出来栄えは一級品。ポーランドで知らない人はいないとも言われる本作は、同じキャストとスタッフで続編もつくられている。また主演俳優は監督の父親である。